



# 校長室の窓から

座間市立東原小学校（電話253-3145）

東原小キャラクター「かめっち」

いよいよ明日は1学期最終日、明後日からは夏休みに入ります。1学期はいろいろな面でご協力いただきまして、ありがとうございました。暑さ対策をしながら、充実した夏休みを送ってほしいと思います。2学期に子どもたちに会えるのを楽しみにしています。



気合たっぷりのドッジボール！



盛り上がるクラスレク！

## 1人1台端末（クロームブック）の活用について

児童に1人1台端末の貸与が始まって数年が経ちました。ICT機器は、活用方法によって、とても効果的に学習したり、時間を有効に物事に取組んだりすることができると思います。

クロームブックを活用した次のような学習風景がありました。

- 海の生き物について、図書室の図鑑から一人一人調べてまとめる課題では、自分に必要なページをクロームブックのカメラで撮影し、撮影したページを見ながら課題に取り組みました。見たい資料が重なったときに、誰かが終わるまで待つ必要がなくなります。
- 沖縄がどんどこころか、教科書の資料から読み取るときに、クロームブックとノートの好きな方で気づいたことを書き込みました。クロームブックでは付箋機能を使って書き込みをしました。教科書のグラフを参考にした場合、そのグラフを取り込み、グラフに自分の気づきを書き込むことができました。どちらで気づきをまとめるかを選べるのもいいと思いました。
- 音楽では、ミュージックラボというツールを使って、和音に合わせて旋律を作る学習をしていました。自分が作った旋律が和音に合わせて流れるのを聴くことができます。繰り返したり、打楽器を入れたり工夫も見られました。音符での旋律作りは抵抗がある児童も、ツールを使うことで、無理なく楽しく活動できる良さがあります。

デジタル端末の使用によって、多様な学習方法が可能になります。一方で、課題もあると思います。次のような記事を見つけました。「手書きは、脳の広範な領域を活性化し、手書きの運動は、視覚、運動、認知の複合的なプロセスによって、情報の理解と記憶を深める効果があるといわれる。手書きの習慣をこれからも重視していく必要がある。」（横浜国立大学教授・青山浩之）

学校では、デジタル端末を有効活用しながら、手書きの価値を再確認していきたいです。そして、ネットワークでのみ意見を共有するのではなく、言葉をつなぎながら学び合うことも大事にしていきたいです。ICT機器の有効活用、手書き、言葉をつなぐこと、どれも児童の成長につながる大切なことだと思います。